

# 日本哲学会 第 67 回大会 (広島大学) プログラム

2008 年 5 月 17 日 (土) < 第 1 日目 >

<p>10:40 【研究発表第 1 会場】(文 B204)</p> <p>ヴォルフ・シンガーの自由意志論 桐原 隆弘</p> <p>真理の収斂説とは何か 石田 正人</p>	<p>【研究発表第 2 会場】(法経 B155)</p> <p>シェリングにおける「生きた自然」と 「主体としての自然」 能登谷 美佳</p> <p>統合の原理とロマン主義の精神 中村 美智太郎</p>	<p>【研究発表第 3 会場】(法経 B255)</p> <p>永遠義務としての平和 田中 美紀子</p> <p>民間人保護を巡る正戦論への建設的批判 眞嶋 俊造</p>
--	---	---

12:00  
委員会(文 B151 文学部大会議室)

13:00  
第 60 回総会 (サタケメモリアルホール)

【第 60 回総会 式次第】	
・議長挨拶	(水田 英実)
・会長挨拶	(高山 守)
・一般報告	(高田 純)
・会則の変更	(高山 守)
・国際交流活動報告	(種村 完司)
・前年度決算報告	(堀江 聡)
・会計監査報告	(高橋久一郎・山田弘明)
・本年度予算案審議	(堀江 聡)
・編集委員会報告	(座小田 豊)

13:50  
14:00  
【シンポジウム】(サタケメモリアルホール)  
「平和・戦争・暴力」  
提題者 町田 宗鳳 司会者 北川 東子  
石崎 嘉彦 越智 貢  
コメンテーター 秋葉 忠利  
大嶽 秀夫

17:00  
休憩

18:00  
懇親会 (広島大学学士会館)  
(会費 5,000 円)

20:00

大会本部 (文 B151 )  
会員控室 (法経 B159)  
電話連絡先 : 090-3802-5114

2008年5月18日(日) <第2日目>

<p>10:40</p> <p>【研究発表第1会場】(文 B204)</p> <p>トマスと 原子から成る世界 二態 高橋 淳友</p> <p>プラトン『国家』における気概は分割されるのか 早川 量介</p>	<p>10:00</p> <p>【研究発表第2会場】(法経 B155)</p> <p>ハイデガーにおける自己批判としてのニーチェ論 木村 史人</p> <p>レヴィナスにおけるパガニズム概念の変遷と その意義 馬場 智一</p> <p>ハイデガーの「世人」概念と実践知の問題 池田 喬</p>	<p>10:00</p> <p>【研究発表第3会場】(法経 B255)</p> <p>バークリーの観念説はロックの観念説を修正した 立場なのだろうか 馬場 鉄兵</p> <p>tag としての実体的紐帯 山口 裕人</p> <p>スピノザ『知性改善論』における方法論とデカルト批判 藤井 千佳世</p>
--	--	---

12:00  
委員会(文 B151 文学部大会議室)

<p>13 :00</p> <p>【研究発表第1会場】(文 B204)</p> <p>アリストテレス『トピカ』における「付帯性」概念と その意義 高橋 祥吾</p> <p>アリストテレス『自然学』における無限と空虚 松浦 和也</p>	<p>【研究発表第2会場】(法経 B155)</p> <p>承認とアイデンティティ 碓 智樹</p> <p>ヘーゲル『法の哲学』における「家族論」 濱井 潤也</p>	<p>【研究発表第3会場】(法経 B255)</p> <p>フィヒテ知識学における自覚と能力 高橋 和義</p> <p>フィヒテ『道徳論講義』における憧憬(Sehnen) の概念について 村下 邦昭</p>
---	---	---

14:20 14:30 休憩

<p>14:30</p> <p>【共同討議】(法経 B155)</p> <p>「哲学史を読み直す イスラーム思想の視点から」 提題者 山内 志朗 竹下 政孝</p> <p>司会者 清水 哲郎</p>	<p>【共同討議】(法経 B255)</p> <p>「脳科学と心」 提題者 武田 一博 信原 幸弘</p> <p>司会者 戸田山 和久</p>
---	---

16:30 終了